



緒形康教授略歴・主要著作目録

緒形， 康

(Citation)

神戸大学史学年報, 39:37-52

(Issue Date)

2024-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/0100491656>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100491656>



略歴と主要著作目録

緒形 康

略歴

1959 年 1 月 27 日 大阪府豊中市に生まれる
1977 年 3 月 31 日 大阪府立天王寺高等学校卒業
1977 年 4 月 1 日 東京大学教養学部文科三類入学
1981 年 3 月 28 日 東京大学教養学部教養学科卒業
1983 年 3 月 29 日 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（文学修士）
1987 年 3 月 31 日 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位修得退学
1987 年 4 月 1 日 東京大学助手（文学部）
1988 年 10 月 1 日 愛知大学講師（法経学部）
1989 年 4 月 1 日 愛知大学講師（法学部）
1990 年 1 月 26 日 東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了（文学博士）
1990 年 10 月 1 日 愛知大学助教授（法学部）
1996 年 6 月 26 日 第 17 回発展途上国研究奨励賞（アジア経済研究所）受賞
1997 年 4 月 1 日 愛知大学助教授（現代中国学部）
1998 年 4 月 1 日 愛知大学教授（現代中国学部）
2002 年 4 月 1 日 神戸大学助教授（文学部）
2005 年 9 月 1 日 神戸大学教授（文学部）
2007 年 4 月 1 日 神戸大学教授（大学院人文学研究科）
2016 年 10 月 1 日 神戸大学教授（人文・人間科学系人文学域）
2024 年 3 月 31 日 定年退職
2024 年 4 月 1 日 神戸大学名誉教授

主要著作目録

1. 著書・編著

『危機のディスクール：中国革命 1926～1929』新評論、1995 年 10 月（総ページ数 374 頁）

- 『一九三〇年代と接触空間：ディアスポラの思想と文学』編著、双文社出版、2008年3月（総ページ数 249 頁）
- 『アジアディアスポラと植民地近代：歴史・文学・思想を架橋する』編著、勉誠出版、2013年3月（総ページ数 336 頁）
- 『グローバルヒストリーの中の辛亥革命：辛亥革命 100 周年記念国際シンポジウム（神戸会議）論文集』（孫中山記念会研究叢書Ⅵ）日本孫文研究会編、汲古書院、2013年3月（総ページ数 376 頁）
- 『中国リベラリズムの政治空間』（アジア遊学 193）共編、勉誠出版、2015年12月（総ページ数 352 頁）
- 『現代中国と市民社会：普遍的《近代》の可能性』共編、勉誠出版、2017年4月（総ページ数 630 頁）
- 『孫文とアジア太平洋：ネイションを越えて』（孫中山記念会研究叢書Ⅶ）日本孫文研究会編、汲古書院、2017年11月（総ページ数 385 頁）
- 『東アジア世界と共和の創生』（孫中山記念会研究叢書Ⅷ）孫文研究会・神戸華僑華人研究会編、汲古書院、2023年3月（総ページ数 344 頁）

2. 訳書

- 『初期中国共産党群像』1（鄭超麟著）共訳、平凡社（東洋文庫 711）2003年1月、291-326 頁（総ページ数 424 頁）
- 『初期中国共産党群像』2（鄭超麟著）共訳、平凡社（東洋文庫 712）2003年2月、57-95 頁（総ページ数 376 頁）
- 『儒教と革命の間：東アジアにおける徐復観』黄俊傑著、集広舎、2018年6月（総ページ数 428 頁）

3. 論文

- 「荻生徂徠の言語論：『読荀子』から『弁名』へ」『寺子屋語学文化研究所論叢』第2号、1983年9月、119-139 頁
- 「清末進化論の思想的位相とその帰趨」『中哲文学会報』第9号、1984年6月、37-57 頁
- 「『論語微』の方法」『寺子屋語学文化研究所論叢』第3号、1984年9月、93-125 頁
- 「嚴復とミル論理学」『中哲文学会報』第10号、1985年6月、91-113 頁

- 「王国維あるいは飛躍の諸形式」『猫頭鷹（マオトウイン）：近代中国の思想と文学』第4号、1985年12月、1-31頁
- 「モダニティーの問題機制と嚴復」『創文』295号、1988年12月、6-9頁
- 「モダニティーの問題機制と嚴復」（承前）『創文』296号、1989年1・2月、26-29頁
- 「解釈学的主体の倫理：嚴復・ハックスレー・スペンサー・ジェヴォンズ」『法經論集』（法律篇）第118・119合併号、1989年2月、1-42頁
- 「嚴復の翻訳論」『文學論叢』第91輯、1989年7月、1-20頁
- 「立憲か？ 専制か？：清末政治思想の一側面」『法經論集』（愛知大学法学部）第120・121合併号、1989年12月、199-284頁
- 「徳川思想研究序説（一）」『文學論叢』第95輯、1990年10月、169-188頁
- 「生成と考古学：子安宣邦『「事件」としての徂徠学』を読む」『法經論集』（愛知大学法学部）第124号、1990年12月、1-42頁
- 「鎖国システムと近世権力」『日本文学』No. 460、1991年10月、1-13頁
- 「共同体の意味変容：「群」と「社会」」『文學論叢』創刊第100輯記念、1992年7月、1-27頁
- 「法思想史における徂徠」『日本思想史学』第24号、1992年9月、4-13頁
- 「言語ナショナリズムとロマン主義」『法經論集』（愛知大学法学部）第129号、1992年7月、1-29頁
- 「書かれなかった「近代の超克」」『国際問題研究所紀要』第97号、1992年9月、137-165頁
- 「“二回革命論”とは何か」『法經論集』（愛知大学法学部）第131号、1993年2月、1-46頁
- 「人民戦争のディスクール」『法經論集』（愛知大学法学部）第132号、1993年7月、1-20頁
- 「一九二七年の五人常務委員会」『国際問題研究所紀要』第99号、1993年9月、27-62頁
- 「近現代中国的現代化運動及其形式和演變」『国外社会科学』第5期（総第185期）1995年5月、26-31頁
- 「招かれざる訪問者：現代中国における論争の起源」『現代思想』第23巻第6号、1995年6月、22-34頁
- 「招かれざる訪問者：現代中国における論争の起源（承前）」『現代思想』第

- 23 巻第 7 号、1995 年 7 月、248-261 頁
- 「他者とユートピア：ギゾー、バックル、スペンサー」歴史学研究会編『講座 世界史 7：「近代」を人はどう考えていたか』東京大学出版会、1996 年 1 月、71-94 頁
- 「よみがえる宗教」『国際問題研究所紀要』第 105 号、1996 年 3 月、187-229 頁
- 「他者像の変容：中国への眼差」『江戸の思想』第 7 号、ぺりかん社、1996 年 7 月、12-25 頁
- 「新国学の批判」『中国 21』創刊準備号、1997 年 3 月、41-62 頁
- 「フーコーと現代中国の対話」『現代思想』第 25 巻第 3 号、1997 年 3 月、172-179 頁
- 「新国学批判」李梁主編『中国研究』特刊号（総第 22 期）1997 年 12 月、10-21 頁
- 「中国の政治、経済の現況」『軍縮問題資料』No. 215（特集 日中平和友好条約締結 20 年）1998 年 9 月、21-26 頁
- 「二十一世紀中国文化的展望：以中国大陆為例」許介麟主編『中国与東亞：21 世紀的課題』国立台湾大学日本綜合研究中心、1998 年 10 月、227-241 頁
- 「毛沢東：「魂に触れる」革命の栄光と挫折」佐藤慎一編『近代中国の思索者たち』（あじあブックス 0010）大修館書店、1998 年 12 月、219-234 頁
- 「新国学批判」愛知大学現代中国学会編『中国 21：1998』中国社会科学出版社、1999 年 5 月、243-269 頁
- 「日本中国近現代思想史研究的歴史与課題」国際儒学聯合会編『国際儒学研究』第 7 輯、1999 年 6 月、11-25 頁
- 「現代中国の自由主義」『中国 21』Vol. 9、2000 年 5 月、87-110 頁
- 「「中国の特色を持った」グローバリズム」『現代思想』第 28 巻第 7 号、2000 年 6 月、208-214 頁
- 「「三つの代表」論と中国知識人批判の関係」『世界』第 686 号、2001 年 4 月、256-265 頁
- 「加盟 WTO 与中国政府行政法治化建設」（王景斌と共著）『国際問題研究所紀要』第 116 号、2001 年 9 月、41-72 頁
- 「記憶は抵抗する：駐米大使、胡適の抗日戦争」『現代中国研究』第 12 号、

- 2003 年 3 月、14-23 頁
- 「嚴復と籌安会問題」『中国：社会と文化』第 18 号、2003 年 6 月、60-83 頁
- 「思想史を逆さに読む：1924 年戴震生誕二百周年記念・清室問題・戴震哲学」
森時彦編『中国近代化の動態構造』京都大学人文科学研究所研究報告、
2004 年 2 月、311-344 頁
- 「書院の公共性をいかに復権するか」韓国成均館大学校『人文科学』第 34 号、
2004 年 2 月、97-111 頁
- 「胡適与“哲学”」『東亜思想中的伝統与現代“哲学”的另類譜系学』(*University of Tokyo Center for Philosophy Bulletin*, Vol. 3 2004) 2004 年 2
月、58-68 頁
- 「現代中国における国家と社会」『神戸大学史学年報』第 19 号、2004 年 5 月、
22-41 頁
- 「哲学の運命：胡適とデューイ」『中国：社会と文化』第 19 号、2004 年 6 月、
257-272 頁
- 「中国現代思想 1991-2003」『現代中国』78 号、2004 年 9 月、3-18 頁
- 「『思想課題としてのアジア』を読む」『中国：社会と文化』第 20 号、2005
年 6 月、12-24 頁
- 「孫文、熊楠的“亜州主義”」日本孫文研究会編『孫文与南方熊楠』（記念孫
中山誕辰 140 周年国際学術研討会）財団法人孫中山記念会、2007 年 3 月、
251-261 頁
- 「孫文・熊楠の「アジア主義」」日本孫文研究会編『孫文と南方熊楠』汲古書
院、2007 年 8 月、220-233 頁
- 「中国の統一国語問題と接触空間の記憶」緒形康編『一九三〇年代と接触空
間：ディアスポラの思想と文学』双文社出版、2008 年 3 月、223-243 頁
- 「自由主義の中国化」『中国：社会と文化』第 24 号、2009 年 7 月、335-348
頁
- 「現代中国の儒教運動：蔣慶の政治儒学に見る文化主権の諸問題」『ICCS 現
代中国学ジャーナル』第 2 巻、第 1 号、2010 年 3 月、221-228 頁
- 「現代中国のイデオロギー状況と『北京コンセンサス』：誰が文化を主導す
るのか」『国際問題』No. 602、2011 年 6 月、5-14 頁
- 「中国革命のイデオロギー装置：資産階級法権と継続革命論」『中国：社会と
文化』第 27 号、2012 年 7 月、264-287 頁

- 「大清帝国の言語政策」『紀要』（神戸大学文学部）39号、2013年3月、45-68頁
- 「近世ユーラシア帝国と一八世紀後半日本の知識人」緒形康編『アジアディアスポラと植民地近代：歴史・文学・思想を架橋する』勉誠出版、2013年3月、55-80頁
- 「一九三〇年代の封建遺制論争、資本主義論争におけるアジアの影」同上、193-219頁
- 「グローバル中国のイデオロギー装置」『新しい歴史学のために（特集 グローバリゼーションと現代中国：言論界の新たな潮流をめぐって）』No. 283、2013年10月、3-19頁
- 「文明と帝国：中国の転型期における国家アイデンティティ」『（国際学術シンポジウム）東アジア共同知と近代東アジア社会の再構築』神戸大学アジア総合学術センター・神戸大学中国事務所・国立政治大学人文センター、2014年1月、141-150頁
- 「近代化と「アジアの想像」」徐興慶編『近代東アジアのアポリア』（日本学研究叢書8）国立台湾大学出版中心、2014年1月、337-355頁
- 「陳独秀：永遠なる反対派」安田常雄編『講座 東アジアの知識人 第4巻：戦争と向き合って 満洲事変～日本敗戦』有志舎、2014年3月、84-101頁
- 「アジア想像の思想史」『台湾東亜文明研究学刊』「東亜思想伝統及其現代転化」専号、第11巻第1期（総第21期）2014年6月、49-76頁
- 「「秘教的な儒教」への道：現代中国における儒教言説の展開」石井知章（編）、子安宣邦（跋）『現代中国のリベラリズム思潮：一九二〇年代から二〇一五年まで』藤原書店、2015年10月、447-474頁
- 「中国政治における支配の正当性をめぐって」石井知章、緒形康編『中国リベラリズムの政治空間』（アジア遊学193）勉誠出版、2015年12月、26-47頁
- “Historical Conciousness and the “Chinese Model”,” *Kobe University Global-Link Forum in Taipei: Event Report*, Institute of Promoting International Exchange Programs, Kobe University, December 2015, pp. 11-14.
- 「宗教還是文明：政治神学在近代東亜」『“漢語神学与東亜” 国際研究会論文

- 集』神戸大学大学院人文学研究科、2017 年 2 月、43-52 頁
- 「中国社会理論は何を前景化したのか？：市民社会と公民社会をめぐる論争
二十五年史」石井知章、緒形康、鈴木賢編『現代中国と市民社会：普遍的
《近代》の可能性』勉誠出版、2017 年 4 月、511-535 頁
- 「近代儒学与全球上の普世価値」『国立台湾大学人文社会高等研究院院訊』
(電子版) 第 12 卷第 1 期(総第 42 期) 2017 年 4 月、[http://www.ihs.
ntu.edu.tw/10publications02_420logata.htm](http://www.ihs.ntu.edu.tw/10publications02_420logata.htm)
- 「近代中国史上“文芸復興”之夢的意蘊」『華東師範大学学报(哲学社会科学
版)』49 卷 4 期、2017 年 7 月、44-54 頁
- 「アジア的なものが無意識なのか：梶谷懐『日本と中国、脱近代の誘惑』を
読む」『現代中国研究』第 39 号、2017 年 7 月、87-95 頁
- 「丸山真男日本儒学論述中政治神学之語境」『杭州師範大学学报(社会科学版)』
2018 年 02 期、2018 年 3 月、50-59 頁
- 「人はいつも歴史の真実をみようと願っているのか：1898 年の戊戌の変法か
ら考える」佐藤昇編、神戸大学文学部史学講座著『歴史の見方・考え方：
大学で学ぶ「考える歴史」』山川出版社、2018 年 5 月、90-103 頁
- 「五権憲法と心性儒学」『孫文研究』第 65 号、2019 年 12 月、43-49 頁
- 「李秀成の供述書はいかに作成されたか」『紀要』(神戸大学文学部) 第 47 号、
2020 年 3 月、1-67 頁
- 「庚子事変における袁許三摺問題」『孫文研究』第 66 号、2020 年 6 月、21-
44 頁
- 「宋教仁暗殺事件の二つのシナリオ」『孫文研究』第 67 号、2020 年 12 月、1
-38 頁
- 「周縁への眼差し、周縁からの眼差し：五四運動と大正モダニズム」『経済史
研究』第 24 号、2021 年 1 月、49-81 頁
- 「馬新貽総督の暗殺とその共犯者を追う」『紀要』(神戸大学文学部) 第 48 号、
2021 年 3 月、1-73 頁
- 「康有為第 6 上書の書誌学的探求」『孫文研究』第 68 号、2021 年 8 月、1-44
頁
- 「暗殺宋教仁的両幕劇本」上海中山学社編『近代中国』第 35 輯、上海社会科
学出版社、2021 年 12 月、1-40 頁
- 「胡適対儒教起源的詮釈学」欧陽哲生主編『胡適与中国新文化：史事与詮釈』

- (下冊) 社会科学文献出版社(北京大学史学叢書) 2021 年 12 月、607-623 頁
- 「康有為第一上書が世に出るまで」『紀要』(神戸大学文学部) 第 49 号、2022 年 3 月、1-64 頁
- 「張君勱新儒家思想史探求過程中对陽明学評価之変遷」黄俊傑編『儒学思想与 21 世紀的対話』国立台湾大学出版社(台湾大学人文社会高等研究院東亜儒学研究中心) 2022 年 9 月、363-390 頁
- 「曾国藩幕府『論語』解釈中徂徠学「革命論述」的作用」林遠沢主編『危疑時代の儒学思想』国立政治大学政大出版社(政大華人文化主体性研究中心) 2022 年 12 月、271-296 頁
- 「中華民國という国号に込められたもの」『孫文研究』第 71 号、2022 年 12 月、32-50 頁
- 「『古文尚書』の真本を求めて：章炳麟、最後の探究」『紀要』(神戸大学文学部) 第 50 号、2023 年 3 月、49-117 頁
- 「東洋共和制は宋教仁暗殺事件に始まる」孫文研究会・神戸華僑華人研究会編『東アジア世界と共和の創生』汲古書院、2023 年 3 月、63-96 頁
- 「自由主義の開拓者、胡適と陳寅恪の生涯(附：顧頡剛、陶行知、羅隆基、熊十力、雷海宗、殷海光、蔡元培、ジョン・デューイ、ハロルド・ラスキ、陸小曼、林徽因、土田杏村、室伏高信、鈴木大拙、傅斯年、王世杰、余英時)」姜尚中総監修『アジア人物史 第 11 卷：世界戦争の惨禍を越えて』集英社、2023 年 4 月、291-362 頁
- 「嘉慶の宗教反乱はなぜ「白蓮教徒の乱」と呼ばれるに至ったか：歴史の記憶を塗り替えた史料をめぐって」佐藤昇編、神戸大学文学部史学講座著『歴史の見方・考え方 2：史料から広がる歴史学』山川出版社、2023 年 10 月、164-185 頁
- 「遵義会議の政治思想史」『紀要』(神戸大学文学部) 第 51 号、2024 年 3 月、21-103 頁
- 「大陸新儒家の三四年」『中国 21』Vol. 60、2024 年 3 月、131-151 頁
- 「近代中日学人『論語』解釈中对『三朝記』及『論衡』之関注：近代儒学經典詮釋学的型態及未来展望」黄冠閔、林維杰主編『儒学的当代性：生態、政治、文化』(東亜文哲研究叢刊 9) 中央研究院中国文史哲研究所、2024 年 6 月、425-455 頁

4. 翻訳・解題

H・ハルトウーニアン「歴史家の言説とネイティヴィズム」（澤井啓一と共訳）『現代思想』第21巻第7号、1993年7月、252-273頁

唐宝林「歴史の真相は隠蔽しえない！」『トロツキー研究』第20・21合併号、1996年10月、222-253頁

張琢「家族文化と現代中国の社会発展」『中国21』創刊準備号、1997年3月、63-76頁

馮天瑜「中華元典精神と中国近代化運動」同上、77-98頁

高明潔「現代中国の民族問題とその研究」同上、139-150頁

雷頤「中国大陸九〇年代の「国学熱」の背景と意義」『中国21』創刊号、1997年9月、165-171頁

張琢「現代中国のコミュニティ末端組織の変遷」同上、145-160頁

馮天瑜「東アジアの知恵と持続可能な発展の道」『中国21』Vol. 5、1999年3月、77-104頁

朱英「戊戌時期における民間慈善公益事業の発展」同上、171-192頁

何清漣「中国が政治体制改革を迫られるこれだけの理由」（翻訳と訳者解説）『世界』第667号、1999年11月、293-305頁

金耀基「五四と中国の現代化」『中国21』Vol. 9、2000年5月、27-32頁

黄長義「中国文化価値体系の現代的転換：「五四」文化精神の反省と再建」同上、33-44頁

牛軍「疑念：中国の対アメリカ観とその思考」『現代思想』第28巻第7号、2000年6月、185-193頁

秦暉「ナショナリズムと中国知識人の国際政治観」同上、194-205頁

徐興慶「『東アジア知識人のモダニティーに関する省察』序論」『海港都市研究』第9号、2014年3月、149-162頁

王建勛「中国の憲政民主への道：中央集権から連邦主義へ」石井知章、緒形康編『中国リベラリズムの政治空間』（アジア遊学193）勉誠出版、2015年12月、26-47頁

俞可平「中国公民社会の制度的環境」（本田親史と共訳）石井知章、緒形康、鈴木賢編『現代中国と市民社会：普遍的《近代》の可能性』勉誠出版、2017年4月、102-154頁

陳宜中「公民儒教の進路：陳明先生訪問記」同上、267-292頁

劉軍寧「天国のティートーク」同上、293-315 頁

「劉仲敬の中華文明史論（翻訳と解題）」『紀要』（神戸大学文学部）第 46 号、
2019 年 3 月、1-46 頁

「萱野長知『支那時局の真相を披瀝して我邦の識者に訴ふ』（中華民國通信社、
大正貳年六月拾七日、非賣品）」『孫文研究』第 69 号、2021 年 12 月、31
-61 頁

5. 書評

金觀濤・劉青峰『興盛与危機』（湖南人民出版社、1984.4）『燎原』No. 31、
1988 年 4 月、6-7 頁

書評『中国トロツキスト史』（唐宝林著）『トロツキー研究』第 15 号、1995
年 5 月、148-153 頁

「都市の自意識/無意識：楊東平の『城市季風』を読む」『東方』177 号、1995
年 12 月、36-39 頁

沈宝祥『真理基準問題討論始末』『中国 21』Vol. 5、1999 年 3 月、221-230
頁

陳永發『中国共產革命七十年（上・下）』『中国 21』Vol. 9、2000 年 5 月、
241-252 頁

「「誤読」という記憶に抗して：牧陽一他著『中国のプロパガンダ芸術：毛沢
東様式に見る革命の記憶』を読む」『図書新聞』2523 号、2001 年 2 月 24
日、第 3 面

辛亥革命百周年記念論集編集委員会編『綜合研究 辛亥革命』『孫文研究』
第 51 号、2012 年 11 月、29-44 頁

石井知章著『中国革命論のパラダイム転換：K・A・ウィットフォールの
「アジア的復古」をめぐり』『社会思想史研究』No. 37、2013 年 9 月、
234-238 頁

黒川伊織著『帝国に抗する社会運動：第一次日本共産党の思想と行動』『日
本思想史学』第 47 号、2015 年 9 月、245-252 頁

「愛国と民主の背後にあるもの：水羽信男『中国の愛国と民主：章乃器とそ
の時代』を読む」『現代中国研究』第 35・36 合併号、2015 年 11 月、141
-148 頁

徐興慶『東アジアの覚醒：近代日中知識人の自他認識』『中国研究月報』第

71 卷第 41 号、2017 年 4 月、37-41 頁
「日本型リベラリズムの実践的起動力：飯田泰三『大正知識人の思想風景』を読む」『孫文研究』第 61 号、2017 年 12 月、60-65 頁
中村元哉『中国、香港、台湾におけるリベラリズムの系譜』『歴史学研究』第 986 号、2019 年 8 月、52-55 頁
佐藤公彦編訳 汲古書院『胡適 政治・学問論集』『中国研究月報』第 77 巻第 12 号、2023 年 12 月、41 頁

6. 学術報告・講演

「中国近代化思想の系譜」『現代中国の政治と経済』平成元（1989）年度 愛知大学公開講座、16-18 頁
「嚴復的經濟思想与亜当・斯密的思想比較」福建省嚴復研究会編『'93 嚴復国際学術研討会論文集』海峡文芸出版社、1995 年 12 月、367-368 頁
「中国政治体制改革の未来」『第 2 回日中学術シンポジウム：21 世紀への政治学・国際政治学』名古屋大学大学院法学研究科、2000 年 10 月、28-31 頁
「現代中国の公共空間」（報告と討論）『東アジアにおける「公論」形成の比較史研究』（平成 12～14 年度 科学研究費補助金（基盤研究（c）（1））研究成果報告書、研究代表者 三谷博、課題番号 12620076）、2003 年 5 月、147-156 頁
「現代中国における「公正」と「正義」』『激動する世界と中国：現代中国学の構築に向けて』（愛知大学 21 世紀 COE プログラム 2003 年度国際シンポジウム報告書）2004 年、179-181 頁
「世界史的解体与再認識」（招待講演、思勉人文講座第 63 講）（関行校区人文楼 5303 学術報告庁、華東師範大学思勉人文高等研究院）2010 年 12 月 21 日
「1848 年革命和中日近代思潮」“辛亥革命与清末民初的社会与政治”工作坊、華東師範大学歴史系・神戸大学人文学院・思勉人文高等研究院中国近現代社会変遷研究中心、2011 年 12 月 19 日
「『辛亥革命 100 周年記念国際シンポジウム（神戸会議）』が問いかけるもの」『孫文研究』第 50 号、2012 年 3 月、63-64 頁
「政治憲法学与規範憲法学在当代中国」「憲政主義与近代東亜」小型工作坊、

- 中央研究院近代史研究所、2016 年 4 月 8 日
- 「丸山眞男与中国政治思想史研究の可能性」『東亜区域研究群學術講演会』中央研究院近代史研究所、近史所研究大樓 1 樓會議室、2016 年 8 月 12 日
- 「史学与經学的較量：中国近代學術史上的一個特殊年代（1923-1937）」『近代史所學術論壇（2016 年第 20 期）』中国社会科学院近代史研究所、近代史所 105 會議室、2016 年 12 月 19 日
- 「高瞻遠矚：縱觀百年」『“從晚清、到民国、向共和” 學術會議』北京大学歷史學系・河北師範大學歷史文化學院・河北師範大學、2016 年 12 月 19 日
- 「ネーションを越える試み：孫文生誕 150 周年国際シンポジウムが目指したもの」『孫文研究』第 59 号、2016 年 12 月、61-62 頁
- 「丸山眞男思想史研究之最後境界」跨文化論壇第 1 講、中国社会科学院文學研究所會議室、2017 年 3 月 14 日
- 「嚴復怎樣將西萊『政治科學導論』翻成『政治講義』」中国人民大学清史研究所學術講座、2017 年 3 月 15 日
- 「晚清中国對走向文明國家之双重構想」中国人民大学史學前沿系列講座第 4 講、2017 年 3 月 16 日
- 「世界史上的長征意義：1960～70 年代日本人見解的啓示」『中國共產黨百年研究的海外視角國際學術研討会』上海社会科学院、2017 年 10 月 20 日
- 「尋找日本思想史的脈絡」山東・東亞人文系列講座 01、山東大學猶太教與跨宗教研究中心、2017 年 12 月 21 日
- 「文學史與思想史之間：圍繞“文學”、“思想” 概念之津田左右吉、丸山眞男、加藤周一的探索」山東大學外國語學院學術講座、2017 年 12 月 22 日
- 「想像的保守主義：另一種五四啓蒙理念」『「五四運動 100 週年」國際學術研討会會議手冊』中央研究院近代史研究所、2019 年 5 月、41 頁
- 「自分の時間を紡ぐ：現代中国の自伝空間」「2019 年度神戸大學文學部公開講座：「とき」の人文學」2019 年 10 月 5 日
- 「近代思潮中的《周礼》詮釋」2019「東亞儒學的經典與文化」國際學術研討会（於文德書院）、2019 年 11 月 24 日

7. 對談・座談・インタビュー

- 「三木清『構想力の論理』をめぐって」（上村忠男・木前利秋・緒形康・山泉進）上村忠男『ヴィーコの懷疑』みすず書房、1988 年 6 月、203-314 頁

- 「中国文化の新しい波：ポストモダンとオリエンタリズムの間」(雷頤・陳明・黄夏年・緒形康)『中国 21』創刊号、1997 年 9 月、47-74 頁
- 「自由主義史観をめぐって」(楊奎松・栄維木・緒形康)『中国 21』Vol. 2、1997 年 12 月、27-60 頁
- 「ベストセラー『現代化の陥穽』の著者に聞く」(何清漣・緒形康)『中国 21』Vol. 5、1999 年 3 月、5-24 頁
- 「インタビュー 二十年の政治体制改革とは何だったのか(加々美光行)」同上、25-42 頁
- 「改革開放時代と中共中央文献研究室(金冲及)」(編集構成)同上、43-60 頁
- 「中国文化思潮」(緒形康・雷頤・陳明・黄夏年)愛知大学現代中国学会編『中国 21：1998』中国社会科学出版社、1999 年 5 月、76-105 頁
- 「自由主義史観鼎談」(楊奎松・栄維木・緒形康)同上、158-194 頁
- 「「五四」と啓蒙のパラドックス」(王元化・周策縱・王賡武・陳万雄・唐德剛・馮天瑜・緒形康)『中国 21』Vol. 9、2000 年 5 月、6-26 頁
- 「日中関係の行間を読む：中国公開情報収集の変遷と展望」(高橋博・緒形康・古森利貞)『中国 21』Vol. 10、2001 年 1 月、157-182 頁
- 「依法治国：政治腐敗の克服と法制のグローバル化を目指して」(孫挽鐘・江平・陳光中・郭道暉・孫世光・緒形康・張琢・郭翔)『中国 21』Vol. 12、2001 年 6 月、7-42 頁
- 「中国とロシア：その党史と政治改革の構図」(塩川伸明・加々美光行・緒形康)『中国 21』Vol. 14、2002 年 10 月、5-44 頁
- 「「創立史」から「成立史」へ：石川禎浩『中国共産党成立史』をめぐって」(石川禎浩・緒形康)同上、45-60 頁
- 「中国伝統文化・思想とその近代化への革新」(馮天瑜・高明潔・緒形康)『中国 21』Vol. 15、2003 年 3 月、43-58 頁
- 「シンポジウム実録」辛亥革命百周年紀念活動日本執行委員会編『百年後的日本与中国：孫中山的夢想与現在』社会科学文献出版社、2012 年 3 月、134-150 頁
- 「辛亥革命 100 周年記念国際シンポジウム(神戸会議)総合討議」(司会、整理)日本孫文研究会編『グローバルヒストリーの中の辛亥革命：辛亥革命 100 周年記念国際シンポジウム(神戸会議)論文集』汲古書院、2013

年 3 月、339-352 頁

(書評会) 武上真理子『科学の人・孫文 思想史的考察』勁草書房、2014 年

(宮川祥子・森川裕貴、司会、緒形康)『孫文研究』第 56 号、2015 年 6 月、31-54 頁

「座談会：中国のリベラリズムから中国政治を展望する」(李偉東・石井知章・緒形康・鈴木賢・及川淳子)『中国リベラリズムの政治空間』(アジア遊学 193) 石井知章と共編、勉誠出版、2015 年 12 月、4-25 頁

「思想状況から読み解く現代中国：改革開放への転換から現在まで」(村田雄二郎・緒形康・李曉東・王前・中村元哉・福島亮大・砂山幸雄)『中国 21』Vol. 60、2024 年 3 月、5-40 頁

8. 辞典・事典

「ヴィットフォージェル」編集代表：岸本美緒『歴史学事典 第 5 巻：歴史家とその作品』弘文堂、1997 年 10 月

「魯迅 阿 Q 正伝」「孫文 三民主義」「毛沢東 毛沢東語録」鷺田清一、野家啓一編『20 世紀を震撼させた 100 冊』出窓社、1998 年 9 月

「大川周明」「中国近代思想」「明律国字解」子安宣邦監修『日本思想史辞典』ぺりかん社、2001 年 6 月

「章学誠」「浙東学派」「全祖望」「万斯大」「万斯同」「文史通議」「六經皆史」「凌廷堪」編集代表：尾崎雄二郎・竺沙雅章・戸川芳郎『中国文化史大事典』大修館書店、2013 年 5 月

「毛沢東主義」中国文化事典編集委員会編『中国文化事典』丸善出版、2017 年 4 月

9. その他

「毛沢東生誕百周年に寄せて」『現代思想』第 21 巻第 11 号、1993 年 10 月、278 頁

「鏡の思想」木山英雄編『西順蔵：人と学問』(西順蔵著作集 別巻) 内山書店、1995 年 4 月、36-53 頁

「毛沢東主義の奔流：1968 年のゴダールとストーンズ」『現代思想』臨時増刊号、第 23 巻第 11 号、1995 年 10 月、200-209 頁

「30 年代中国社会性質論戦の重新評価」『陳独秀研究動態』8、1996 年 7 月、

14 頁

「受賞の言葉」(平成 8 年度「発展途上国研究奨励賞」の決定)『アジア研ワールド・トレンド』第 15 号、アジア経済研究所、1996 年 8 月、35 頁

「起始的政治学」李梁主編『中国研究』第 2 巻第 10 期(総第 22 期)、1997 年 1 月、3-5 頁

「海域、交通、接近：新しいエリアスタディーズをめざして(フロア討論)」立命館アジア太平洋研究センター、坂本和一編『アジア太平洋のエポック』法律文化社、1998 年 4 月、102-112 頁

「日本愛知大学現代中国学部」劉夢溪主編『世界漢学』創刊号、1998 年 5 月、212-214 頁

「新語で綴る最近の中国事情・補遺」『中国 21』Vol. 5、1999 年 3 月、129-134 頁

「徐志摩の文学と恋愛」『出版ニュース』1871 号(2000 年 6 月中旬号) 15 頁

「愛知大学現代中国学部の海外拠点」『廿一世紀の東方学：第 2 回 東方学と国際協力』京都大学人文科学研究所、2002 年 3 月、16-24 頁

「日本の中国研究の将来像」(発言摘録)神戸大学創立 90 周年記念事業における文化学研究科国際シンポジウム『日本の中国研究と欧米の中国研究』神戸大学大学院文化学研究科、2004 年 3 月、51-52 頁

「中国の反靖国直接行動に思う」『現代思想』第 33 巻第 6 号、2005 年 6 月、167-169 頁

「『支那社会研究』橘樸：中国の農村倫理を求めて」『現代思想六月臨時増刊号』(ブックガイド日本の思想)第 33 巻第 7 号、2005 年 6 月、156-159 頁

「東アジア共同体における対抗的理念」(基調講演への応答)国際学術シンポジウム『接触空間と旅遊体験』報告要旨、神戸大学文学部・文化学研究科、2006 年 1 月、13-14 頁

「歴史からのメッセージ」『孫文の義士団(十月圍城)』(2009 年/中国・香港 合作映画/カラー/139 分)(株)東急レクリエーション、2011 年 4 月 16 日、20 頁

「東アジア共和 110 年」館報『孫文』No. 28、2022 年 2 月、1 頁

「思想」(動向・文化)一般社団法人中国研究所編『中国年鑑 2022』明石書店、2022 年 5 月、213-215 頁

「弔辞」『「加々美光行先生を偲ぶ会」栞』「加々美光行先生を偲ぶ会」実行委員会、2023年5月、27-29頁

「思想」（動向・文化）一般社団法人中国研究所編『中国年鑑 2023』明石書店、2023年5月、201-203頁

「思想」（動向・文化）一般社団法人中国研究所編『中国年鑑 2024』明石書店、2024年5月、215-217頁